

# ゆかり旅

【高志篇】  
KOSHI

日ごと秋の色が深まる11月の高志。秋風に舞われて、池下町御井下橋に咲いた風情溢る花を眺めながら。



後平氏17代の居城だった御井城は、明治になり堀や土がなくなり、本丸石垣のみ残る。石垣は昭和23(1948)年の御井城跡で一部復元されたが、昭和58(1983)年撤去された。

## ゆかり旅の舞台

高志市現で「御井」といって愛称で親しまれている御井城跡の内堀と石垣。麗花小学校横の小道を通って、紅葉の季節である御井下橋までがらりと歩いてみた。

昔はなごびなく見ているが、石垣と石垣の隙の間から光景はやはり美しい。御井下橋の上では、子供たちが歓声を上げながら「コイにエサを与える役も、水面に浮かぶ「コイ、その中をのんびりと泳ぐ水鳥、小さなカメも見える。水辺の光景は心を和ませてくれる。

橋を渡ると、天守台がある。急な石段を登ると、御井という地名のより所になったといわれる「御の井」があり、御井遺蹟で崩れた石垣が一部そのままに残してある。ひっそりと秋風の吹く中に歴史の息みを察した。